

1. 授業のねらい・概要

スマートフォンやタブレットパソコンの普及に伴い、インターネット技術を利用した様々なサービスが広く提供されるようになってきた。これらのサービスを提供する Web アプリケーション開発も、従来利用されてきたプログラム言語だけでなく、HTMLの最新バージョンである HTML5にも Web アプリケーションのためのプラットフォームとして、各種 API やローカルデータベースを扱う仕様を含むようになってきている。さらに、Web ページのデザインを設定するカスケーディングスタイルシート CSS3 と組み合わせることにより、これまで以上に多様な Web アプリケーションの開発が実現できる。

本講義では、こうした技術の修得を目的として、HTML5+CSS3 や JavaScript などを利用した Web アプリケーション開発をテーマに講義と実習を行う。

2. 授業の進め方

コンピュータを利用した実習形式で行う。

3. 授業計画

1. Web アプリケーションとは	9. Canvas・jQuery
2. HTML5 の概要	10. API
3. HTML5 の基本	11. 動画・音声
4. CSS3 の概要	12. ユーザインタフェース
5. CSS3 の基本	13. Web アプリケーション設計
6. CSS3 の実践	14. Web アプリケーション開発
7. JavaScript の概要	15. 課題の評価とまとめ
8. JavaScript の基本	

4. 到達目標

Web アプリケーションを開発するための言語である HTML5, CSS3, JavaScript を理解でき、プログラミングできるようになることが目標である。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

出題された課題の制作を通して、HTML のプログラミングを理解しておくこと（30分程度）。

6. 成績評価の方法・基準

受講態度、実習課題の成果物、レポート、期末試験を総合して評価する。

7. テキスト・参考文献

テキスト：相澤裕介、『情報演習 JavaScript ワークブック』，カットシステム，2011 年

8. 受講上の留意事項

Web デザインを受講済みであるか、または同等の知識・技能を持つものを対象に授業を行う。わからないことがあるときには積極的に質問すること。